

令和元年度事務事業点検の結果について

1 実施目的

少子高齢化等社会情勢の変化への対応や、市民ニーズに沿った新規事業を実施するためには、財源が必要となりますが、予算編成・実施計画策定においては、毎年度財源を大幅に超えた歳出予算要求が行われています。そのような中で、新規事業を実施するためには、既存事業の改廃、いわゆるスクラップ&ビルドが不可欠となっています。そこで、昨年度より事業費を伴う政策的な事業を対象とした「事務事業点検」を行うこととしております。

2 対象事業

令和元年度は、事業費予算を伴う政策的な事務事業の 35 事業を対象とし、廃止・見直し・縮小等を判断しました。

3 見直しの手法

事務事業ごとに「事業の必要性」と「改善の必要性」について、あらゆる切り口で検証・点検を行いました。

4 これまでの事務の流れ

平成 31 年 3 月 22 日～平成 31 年 4 月 26 日	1 次点検（各課評価シートの作成）
令和元年 5 月 23 日～令和元年 5 月 31 日	2 次点検（対象：担当課長）
令和元年 6 月 28 日～令和元年 7 月 4 日	3 次点検（対象：担当部長）

5 点検結果の反映

事務事業点検の結果については、実施計画及び予算に反映させています。

6 点検結果

点検総数 35 事業

点検区分	事業数	備考
廃止	1	今回の点検結果を契機として、廃止に向けて取り組んでいく事業
見直し	10	今回の点検結果を契機として、事業の見直しを検討していく事業
縮小	6	今回の点検結果を契機として、事業の縮小を図っていく事業
現状維持	18	点検の結果、現状維持となった事業
計	35	

7 効果額

年度	効果額（千円）
2020 年度	1,745
2021 年度～2024 年度	90,750
計	92,495

※2021 年度～2024 年度は見込額

8 点検結果の概要（主な廃止・見直し・縮小事業）

【廃止と判断した事業】

科目（事業）名称 （カッコ内は廃止目標年度）		取組方針	効果額（単位：千円）		
			計	(2020)	(2021-24)
3人乗り自転車貸出事業	(2021)	本事業は国から3人乗り自転車購入費補助金もあり導入をしたが、現在は自転車の老朽化が進んでいる。3人乗り自転車の普及の目的を果たしたため、1年間かけて自転車組合や利用者に制度廃止の周知をし、2020年度事業実施後に廃止予定。	2,008	0	2,008
廃止 計			2,008	0	2,008

【見直しと判断した事業】

科目（事業）名称 （カッコ内は見直し目標年度）		取組方針	効果額（単位：千円）		
			計	(2020)	(2021-24)
ボランティア・市民活動センター運営費補助金	(2020)	開館日及び時間の精査	—	—	—
身体障害者福祉センター施設管理運営事業	(2020)	全ての障がいのある人が参加できるよう、センター事業として新たな教室を開催する。障がいのある人でも行えるようなスポーツの用具を設置し、施設の活用と障がい者の社会参加を推進する。デイサービス事業は廃止する。	—	—	—
特定健康診査等事業費	(2020)	受診者特典の代替案の検討又は廃止	125	25	100
食用廃油回収委託料	(2021)	令和3年秋に切替ができるよう、資源化方法を再構築する。	—	—	—
図書館運営事業	(2020)	雑誌の棚やブックカバーに広告を掲載するスポンサー制度について検討する。	—	—	—
見直し 計			125	25	100

【縮小と判断した事業】

科目（事業）名称 （カッコ内は縮小目標予定年度）		取組方針	効果額（単位：千円）		
			計	(2020)	(2021-24)
電算技術研修会負担金	(2020)	負担金不要の研修への一部切替	250	50	200
歳入システム処理手数料	(2020)	口座振替日の集約	8,250	1,650	6,600
心身障害者扶助費	(2021)	特別障害者手当、愛知県在宅重度障害者手当受給者は対象外	81,144	0	81,144
介護保険料の軽減制度【周知方法】	(2019)	市単独減免について、ホームページや広報で周知すると共に、前年度該当者に申請書を送付する。	100	20	80
がん検診推進事業	(2022)	集団がん検診会場を刈谷医師会検診センターに一本化	618	0	618
縮小 計			90,362	1,720	88,642